

観光開発 観光地プロデュース ツアープランニング

Tourism Development Tourism Produce
Tourism Planning



木村 ともえ
KIMURA Tomoe

准教授（専門職大学院）
Associate Professor
The Professional Graduate School

専門領域 Areas of expertise

■観光分野地方創生
Regional Revitalization (Tourism)

■観光地ブランディング
Tourism Branding

■観光地プロモーション
Tourism Promotinon

主な担当科目 Subjects

■観光地プロデュース

■観光ツアープランニング

研究活動 Research

研究対象は地方行政を主とする観光地域づくり事業。2008年より、主に観光地のマーケティングとブランディングを手がける。戦略策定の立案を通じ、「体制整備」「会議」「調査」「商品開発」「プロモーション計画」等の実務を行い、PDCAをまわす活動を行っている。

□主要研究業績要旨

熱海市シティブランドプロモーション事業「意外と熱海」 2013年～2019年

観光ブランディング事業および誘客促進事業のプロデュース。
①バラバラのプロモーション②宿泊の低迷③観光まちづくりができてない、3つ課題に対して「意外と熱海」というコンセプトをたて、地域一体で観光施策を実施した。観光KPIは3年間で、年間のべ宿泊者数の10%の増加(25万人)。宿泊者数のへこみ時期に集中的にプロモーションを行い事業開始から約2年で、ターゲットのF1、F2層が来訪し始め、300万人のべ宿泊者数を達成した。「温泉」を売るのではなく、「まち」を売る事に集中し、路地裏レトロ散歩シリーズを開発。スイーツや純喫茶やスナックに光をあて、周遊改善と消費をもたらした。静岡大学と観光動態調査、静岡県立大学とは調査のICT化など、産官学の共同研究も手掛け、地域一体でのマーケティング活動を行った。



「意外と熱海」は認知度の高い「温泉」ではなく「まち」をプロモーションした

熱海市 文化観光施設「起雲閣」プロデュース

熱海市の別荘文化を代表する「起雲閣」は大正8年に建てられ、昭和期には名旅館として名をはせ、現在は熱海市の指定管理施設として一般公開されている。指定管理事業者が、文化財「保存」と観光「活用」の新たな挑戦を行っており、集客ターゲット、プランニングのアドバイスを行っている。



「和灯りの庭」は光らせるイルミネーションではなく、夜のゆったりとした雰囲気を演出することに注力

鶴岡市観光戦略策定(初期・中期) 2017年～現在

観光戦略立案、体制整備、事業構築のトータルプロデュースを手掛ける。イベント型の観光活動から脱却するため、企画委員会の立ち上げ、観光客動態調査の仕組みづくり、観光戦略の立案を地域一体で行い、現在もDMOがけん引している。中期計画では、インバウンドを視野にいれ、デジタル時代の観光振興を立案した。周遊ツール「手ぬぐいスタンプ帳」や宗教ツーリズム「出羽三山2446段『石段詣』」も開発し、「石段詣」は2025年5月17日に巡礼者1万人を達成した。各種観光調査は静岡県立大学と共同研究中。



「手ぬぐいスタンプ帳」は観光客動態調査をもとに酒田市と広域で実施。毎年スタンプを増やし地域一体商品として継続中



「石段詣」は宗教ツーリズムの新たな巡礼スタイル

ゼミ活動 Education

①ひらかれた活動を

(株)ジェイアール東日本企画とのクロスアポイント教員であることから企業との協働を検討

②文化資源の研究活動

歴史的価値の高い施設の活用や、日本独自の文化としての寺社仏閣の在り方の研究を検討。2023年4月より(株)ジェイアール東日本企画が管理する熱海市文化施設指定管理も対象



tourism

Love your place
Share it with the world